

新入会員の紹介

地球環境に優しい次世代の非開削工法（HDD工法）

グランドドリル工法協会

問合せ先：グランドドリル工法協会
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-6-5 ツカモトビル伊藤忠建機(株)内
TEL：03-3510-7417 FAX：03-3510-7405
<http://www.icm.co.jp/original/grundo>

グランドドリル工法は、(独)トラクトテクニク社の開発した電磁誘導式による非開削工法(HDD工法)の一つであり、主にポリエチレン管・鋼管・鋳鉄管等を布設するための工法です。

本工法は1992年にわが国に導入され、また本協会も1996年設立し非開削技術の普及・促進を図り、工事の合理化と工事環境の改善に寄与することを目的とし、これまでガス・上下水道等地中施工に約130Kmの実績があります。

この工法は、地上部に設置した可動式機械本体より削孔開始したロッドを地上部からローケーター誘導により方向を制御し正確に目的地点に到達させ《一次削孔》、引続き到達立坑にて使用管に引込拡大器具(バックリーマ)を接続し先導孔に沿って引込む《二次削孔》、二工程の引込式推進工法です。また、機械的特長として【打撃機能/パーカッション機構】を装備している事から幅広い土質のニーズにお応え出来ます。

また、既設管の入替えを主目的としたグランドバースト工法もあり、入替え対象管(鋳鉄管・鋼管・石綿管等)を埋設状態のままローラーブレードもしくはバースティングヘッドで管軸方向に切り裂き又は粉碎しながら新設のポリエチ

レン管等を引込む効率的な工法です。

本工法の主な特長と多様なメリットは以下の通りです。

- ・道路復旧(掘削&埋戻し)コストの削減
- ・掘削土砂の削減による運搬廃棄の軽減
- ・交通遮断の軽減、街路景観の確保
- ・作業振動騒音の抑制
- ・工期の大幅な短縮
- ・大半が地上部での作業による迅速性と安全性

ガス・上下水道・電気・通信等ライフラインの埋設管の布設において、従来の開削工法の概念を打破し、都市部/住宅密集地・道路/軌道/水路等これまで施工困難であったポイントの施工・ニーズお応え出来るよう、各地域の協会員共々、工法の普及拡大に取組みたいと考えております。

